

# 高槻里山ネットワーク 令和4年度事業活動報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度は、高槻里山ネットワーク設立20周年になりました。

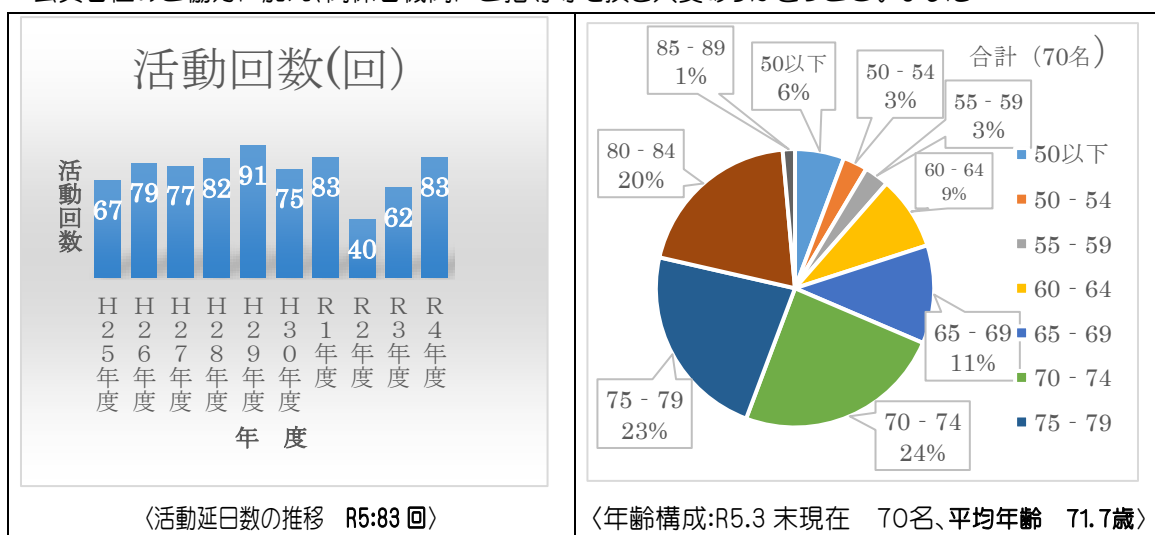
令和4年度の事業活動方針に基づき、会員間のコミュニケーションを重視しながら、**全員が“安全を第一に楽しく高槻の里山の保全活動を推進する**ことを心掛けて実施した結果、多様な活動に多くの会員が参加頂きました。

私たちの活動は、3年前から新型コロナウイルス感染対策のため活動日数が減少していましたが、ワクチンの接種などにより感染者が減少し、十分な感染対策を実施することによって本来の活動に戻ってまいりました。

昨年中止された農林業祭などのイベント等も開催され、参加する事ができました。

また、昨年の総会で会長より提案のあった**20周年記念事業**として編集委員会を立上げ「20年史の編纂」と、ヤマモモ会により記念品として「藍染め記念Tシャツ」の制作し、各会員に配布されました。

会員各位のご協力に加え、関係各機関にご指導等を頂き大変ありがとうございました。



## 1. 活動の実施状況について

・令和4年度は、定例・臨時施業及びイベントなどを含め、活動延べ日数は83日、参加人数 1,328 人でした。

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動延日数	75日(16日減)	83日(8日増)	40日(43日減)	62日(22日増)	83日(21日増)
参加人数	1,305人(265人減)	1,557人(252人増)	784人(773人減)	914人(130人増)	1,328人(414人増)

注) ( )内は前年度との比較増減を表す。

(1)施業場所別、イベント等別の活動状況は、次の表の通りでした。

区分	施業場所・イベント名称	令和4年度		備考
		活動日数	参加人数	
施業	高槻楊梅山ふれあいの森	23日	313人	楊梅山
	上牧竹林	19日	373人	上牧
	一乗寺(竹林)	12日	217人	一乗寺
	萩谷公園(炭窯)	8日	149人	萩谷総合公園
	尼堤竹林	3日	27人	尼堤竹林
	草木染め作品づくり(ヤマモモ会)	10日	113人	磐手公民館等

イベント	農林業祭参加(含む準備)	2日	52人	嶋上郡衙跡地
	七夕用笹配り	1日	21人	JR 高槻駅前
	エコ・グリーン、協働フェスタ、ハイキング	3日	27人	野見神社・竹林公園
	その他(清掃)	2日	32人	神峯山寺
令和4年4月1日～令和5年3月31日		83日	1,328人	

(2)主な施業内容

楊梅山、上牧竹林、一乗寺、萩谷炭窯施業については、大阪さとり協議会(主催の)「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」制度を申請して施業を行いました。

主な施業内容は以下のとおりです。

①楊梅山:

楊梅山国有林「高槻楊梅山ふれあいの森」利用協定の5か年計画の3年目の施業を行いました。主な項目は以下のとおりです。

- ・せせらぎコースの風倒木等処理(平成30年9月の台風21号被害対策)
- ・クスノキ広場の被害木整理と南側斜面を「ドングリ育成林」としての敷地整備
- ・ヤマモモ広場のヤマザクラ植林地の保全
- ・コバノミツバツツジ群生地の除伐整備
- ・山野草園の維持管理
- ・アカマツ再生林の保全
- ・タマミズキ展示林の整備
- ・各コース・散策路の整備(階段・倒木・橋など)
- ・森林環境教室(3回)の実施



## ②上牧竹林:

西日本高速道路株式会社関西支社京都高速道路事務所と「ボランティアによる竹林等の維持管理に関する確認書」に基づき施業を実施しました。

A~G・D2 の竹林を守るため、竹林保育、竹の間伐・除伐、イノシシ進入防止柵の設置・更新を行いました。A2 地区もタケノコの取れる竹林をめざして枯損木の処理、間伐を進めました。

・タケノコ掘り支援活動(高槻市小学生家族、NEXCO 家族、会員家族)



《上牧竹林入口部》

《整備された上牧竹林》

## ③一乗寺:

日蓮宗昌林山一乗寺との「一乗寺竹林における竹林整備に関する覚書」に基づき施業を実施しました。

- ・施業内容は、一乗寺住職のご指示に従って、竹林整備や土持、階段の補修などを実施
- ・園児タケノコ掘り体験の支援を実施



一乗寺竹林施業

一乗寺竹林施業

## ④尼堤竹林:

新たに高槻市尼堤地区の個人所有竹林(0.27hr)整備の申し込みがあり施業に着手しました。次年度からは新たに「覚書」を交わして施業を進めていく予定です。



《尼堤竹林写真》

《尼堤竹林写真》

### ⑤萩谷炭窯:

高槻市と「都市公園内施設設置許可書」に基づき施業を実施しました。管理団体が「みどりとスポーツ振興事業団」から「高槻みらい創造パートナーズ」移行しましたが炭窯借用期間の更新もスムーズに完了いたしました。

1・2号炭窯内の竹炭窯火入れ取出しと窯内の清掃作業、燃料置場の補修、窯前広場の草刈り作業を実施しました。

- ・2号窯の老朽化損傷が発生したため新ため更新
- ・今年もヤマモモ会提案のミニ門松作り実習実施



炭窯の火入れ



ミニ門松作り実習

### ⑥ヤマモモ会:

ヤマモモ会(女子会)が中心になって、磐手公民館を基地として草木染め作品づくりと展示販売を行いました。

今年は20周年記念Tシャツの制作など参加人数が増え益々活発化してきました。

- ・20周年記念藍染Tシャツを制作(70着)
- ・日本新薬植物園見学
- ・京都市立洛西竹林公園へのハイキング(3月28日)
- ・ジャズストリートアートの森作品販売
- ・エコフェスタ作品展示
- ・農林業祭作品販売
- ・磐手公民館フェスタ作品展示



〈草木染め作品の制作〉



〈メンバーと20周年記念藍染Tシャツ〉

(3)施業の安全対策として「事故・ヒヤリハット及び取組報告」など強化するとともにコロナ対策を行いました。

(4) 20周年史の編纂（総会時に配布）



(5) その他活動及びイベントの参加

①タケノコ掘り支援活動:

園児対象:一乗寺、市民小学生家族対象:上牧竹林

②農林業祭

コロナ禍の開催で規模が半日に縮小されましたが草木染め、干支などの竹細工、つる製品、ミニツリー、竹炭などを販売しました。

③神峯山寺周辺の清掃等

川周辺の清掃を今年度は7月と3月に実施致しました。

④JR 高槻駅前での七夕笹配り

⑤外部主催のイベント等への参加

環境展、エコ・グリーンフェスタ、NPO協働フェスタジャズストリートアートの森、野見神社手作り市、磐手公民会フェスタなど

⑥ハイキング(竹林公園)

⑦高槻市共創の森作り

平成 30 年 9 月台風 21 号で大きな被害を受けた森林観光センター周辺の山に植林して森を作る「高槻市共創の森協議会」参加して活動していくこととなりました。



〈JR 高槻駅七夕笹配り〉



〈農林業祭〉



〈神峯山寺水路清掃〉

## 2.組織と運営について

(1) 令和5年3月末現在の会員数は、71人です(女性24人、男性47人)

入会者5人、退会6人で、昨年より1人減少しました。

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総会員数	72人(2人増)	76人(4人増)	73人(3人減)	71人(2名減)	70人(1名減)
入会・退会数	入会7人、退会5人	入会4人	入会3人、退会6人	入会4人、退会6人	入会10人、退会11人

(2) 令和4年度には、役員会を中心に次のような施策・活動を実施しました。

- ①一昨年の総会はコロナ感染拡大により、書面決議による総会決議となりましたが、令和4年度の総会(第21回通常総会)を5月28日(土)に開催をしました。(会員数68名、出席者24名、委任状提出31名)第1号議案、第2号議案、第3号議案とも賛成多数で承認されました。
- ②定例役員会(毎月)を開催し、活動方針・内容等の審議、運営状況の確認などを行い円滑な運営に努力いたしました。
- ③大阪さとり地域協議会より「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」(3年計画の3年度分)の受給を受け、活動資金として有効に活用。関連で高槻市からも事業費の支援を頂きました。
- ⑤高槻市社会福祉協議会から助成金を受領しました。
- ⑥マックスバリュ「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を通じて活動資金を獲得しました。
- ⑦会員フリートーキング(ミーティング)楊梅山施業後(令和5年1月8日)に実施し、会員からご意見を頂き、役員とミーティングを致しました。ご意見をもとに令和5年度の施業等に反映させました。
- ⑧萩谷公園の運営がR4年度から美津濃(株)を代表とする「高槻未来創造パートナーズ」に変更したことを受けて、高槻市公園課を交えて三者で今後の対応を協議し、この三者で新たに覚書を作成することになりました。この場で本会の自主性による保全活動の実施を確認しました。
- ⑨関係機関との協議のほか、恒例の年始挨拶回り等、関係機関との連携協力で配慮した円滑な運営に努力致しました。

以上、会員の皆様の積極的な活動への参加に感謝いたします。

以上



会員間のコミュニケーションを重視しながら  
全員が「安全第一・楽しく」活動しました